

科目名	心理学実験Ⅱ					単位	2.0
担当教員	目黒 達哉・石牧 良浩・高橋 彩						
授業形態	実技・実習	開講期間	後期	配当年次	3	授業番号	5512

●授業のテーマ

心理学の実験から人の行動とところを探究する。

●到達目標

心理学基礎実験の知識をもとに、心理学の特徴や方法論への理解を深める。

●学習内容(授業概要)

心理学実験は、心理学基礎実験を習得した上で習得する実験演習である。したがってこの授業では、心理学基礎実験よりもさらに自発的な態度で実験に取り組むことが必要であり、実験の内容についても参加する学生諸君の創意工夫が要求される。5つのテーマ（認知・行動、発達・教育、人格・臨床、社会・産業の各分野）の実験を通して、心理学の実験の方法論や、データの扱い方についての理解を深め、自身が論文を書く際に応用できるようにする。[キーワード] 心理現象 研究法 データ処理

●学習内容(授業計画)

以下に示すような、5つのテーマの実験を行う。学生は4グループに分かれ、それぞれのグループに対し、1名の教員が担当、指導する。3週間ごとにテーマを変えて実験に取り組み、そのテーマごとに実験レポートを提出する。

- a: 視覚情報処理の特徴について、反応時間を用いて検討する
- b: 幼児を対象とした面接 発達心理学の研究の記録方法と分析の実際
- c: カウンセリングⅡ プロセスの促進と展開/様々な技法を学ぶ
- d: 社会心理学の実験を実験者として実施
- e: 一対比較法による調査の実施

●準備学習・事後学習の内容

実験の内容・手順について、予め頭に入れて実験に臨むこと。また、実験後はデータの取り扱いについて、指示された作業を行っておくこと。

●成績評価方法・基準

5テーマの実験レポートによる評価を基本とするが、欠席・遅刻はマイナスの評価として厳格に加味する。

●テキスト(必携)

各テーマごとに実験マニュアルなど、必要なプリントを配布する。

●参考文献／その他
講義中に紹介する。

●履修上の注意

レポートをまとめるだけでなく、実際に実験に参加することが重要である。よって、欠席は極力しないようにする。